

第4回 臨時議会 11月6日 テラス沼田トレーニングプラザ 指定管理条例



7階南側は、これまで民間スポーツクラブと沼田市が運営する介護予防スタジオ、軽運動室、交流スペースに大別して「多世代交流」を促すフロアとされていました。しかし、今回の提案ではスペースを限定せず、調整によって「空き時間・空きスペース」を最小限にしようという考えから、フロア全体をシェアしながら目的を達成しようという提案でした。

介護予防・軽運動・交流スペース 7階の利活用計画は？



私は、これまでスマートウエルネスも提案し、7階は「健康」をキーワードにした市民同士の交流広場となることをイメージしていましたので、高齢福祉課や健康課の具体的企画を呼び掛けながら、市内に存在する「健康企画」を集めて貰おうと考えていました。

しかし、残念ながら現時点での沼田市単独による企画は、まとめ切れておらず、民間の企画力に委ねることとして賛成しました。

民間フィットネスでも… 多世代で利用できるプログラムが

民間のフィットネスクラブというと「結果にコミットする！」とかいう宣伝で有名なジムをイメージしますが、心配になって調べてみると身体は使わず、頭の体操を含めた高齢者のメニューや出産直後のおなか周りの贅肉カットプログラムも沢山用意しており、やや安心しました。



「有料」の適正值、納得感が今後の運営のネックになってくると考えます。

第5回 臨時議会 11月22日 H30年度補正予算 (テラス沼田工事費用の増額)



約3億円の増額工事費！
これだけの大型工事ですから、多少の期間延長や増額工事費は、ある程度覚悟はしていましたが、3億円と聞くと、さすがに「どうして?!」と聞きたくなるし、多くの議員から「分かった時点で何故議会に報告をしなかったのか！」と厳しい指摘がありました。

建設費用比較 新築富岡vs改修沼田

自治体	延床面積 ㎡	当初予算 円	結果費用 円	差額 円	坪単価 円
富岡市	8,000	33億	40億	7億	165万
沼田市	24,000	49億	52億	3億	71万

リフォームじゃなく、リノベーション! 面積3倍・工事費2分の1

当然、補正予算の認否では議会軽視で12月定例会までに、キチンとした説明を求める声もありました。

私は、企画力、対外交渉力、庁内調整力共に課題を残すとした上で「今回の工事は一般の家であれば、単純なリフォーム＝損傷や老朽箇所を修繕して元のように使うのではなく、リノベーション＝刷新であり、まったく新しい機能や価値の付加を目指したはずと発言しました。

つまり、高いレベルのチャレンジによって「新中心市街地西の核」を生み出し、こども広場、多目的議場、福祉ショップ・カフェを含む多機能複合施設を目指したはずです。

客観的には、この7月オープンした新富岡市役所は8千㎡で47億円＝坪単価165万円、改修によるテラス沼田は2万4千㎡で52億円＝坪単価71万円です。

真の課題は、富岡市の3倍のスペースをどう利活用し市民全体の「共有財産」としていくべきかであるとして、苦渋の賛成をしました。

沼田市議会議員高柳かつみと 2018年 秋期 NO59号

沼田市の明日を前向きに考える情報誌

歩む会ニュース

発行責任者 高柳 勝巳 〒378-0055 沼田市柳町2583-8 ルピナス103号 ☎ 25-8062
ホームページ <http://www.ayumu-kai.jp/> Eメール xx.takayanagi-po@au.wakwak.com

テラス沼田工事費増額約3億円の提案が…



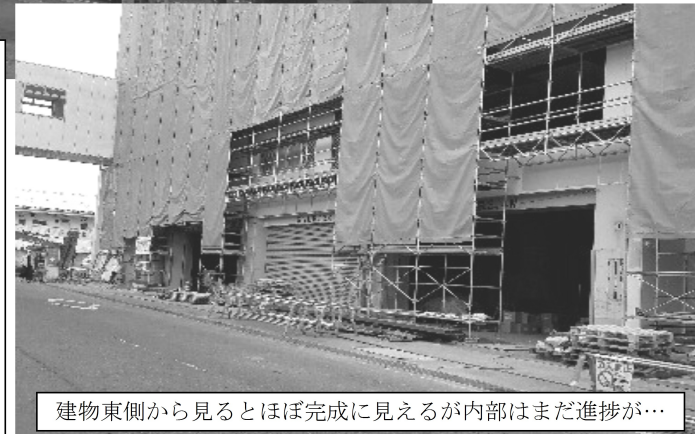
←テラス沼田の改修工事は一見順調かに見える中、これに係わる2度の臨時議会が開催されました。

11月6日には7階の「多世代交流」をコンセプトにした「トレーニングプラザ」の指定管理条例の提案があり、22日には当初予算49億円のテラス沼田改修工事費3億円増額の一般会計補正予算

案が提案されました。

工事中に予想外の事態が生じる事が想定される改修工事への対応も、新たに高機能で利便性のある空間創出のための庁内調整も「まったく新たな」挑戦のはずでした。

当然、その道程では様々な困惑も予想されますが、残された期間に最大限集中して、この一大事業を成し遂げるべきと私は考えました。



建物東側から見るとほぼ完成に見えるが内部はまだ進捗が…

59号の概要

お気付きの方もいらっしゃると思いますが、今号の前に夏号が発刊できませんでした。

お詫びしながら、今号が6月と9月、そして11月の臨時議会「合併号」となることをお知らせいたします。

- 中心市街地の今後の展開について
- コミュニティ作りと居場所作り
- 公共施設の維持・管理・運営
- 指定管理制度と民間委託（学校プール）
- 平和行政（オスプレイとアイキャン）
- 11月開催の臨時議会

学校のプールと水泳授業を 民間事業者に委託!

問：公共施設マネジメントについて、千葉県の佐倉市というところが学校のプールを民間の水泳教室に委託を出したという事例があります。

利用率は、学校の授業だけですし、光熱水費が高いので、民間委託に出しました。

水泳教室のほうは昼間余りお客さんが来ない。そこを学校が利用していただけるので助かり、そして、学校のほうは専門のプロが教えますので、非常に効果が上がるということで、ウイン・ウインの関係になったというケースです。

13億円試算で浮く。縮小をするということはみんなに我慢をしていただくじゃなくて、知恵を出せば皆さんがもっともっと活用ができる方法を提案できるということなんです。市長のお考えを伺いたいと思います。

9月一般質問 平和行政について 外交・防衛・金融は 国政レベルの専権事項 とされていますが…

問：昨年ノーベル平和賞を受賞した国際NGO組織による核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の継承についての考え方を伺います。

世界中の若者が中心になって10年前から各国へ核兵器禁止条約制定を働きかけ、そのパワーが原動力となり国連での採択となりました。しかし、この条約は50カ国の批准がないと「発効」しません。さらに残念ながら世界で唯一の被爆国でありながら、日本政府はこの条約に積極的でなく、現在のところ批准の動きは見られません。平和を積極的に推進する組織の一員として、市民の平和を守る立場から、この批准を周辺地域や政府に積極的に働きかけるべきと考えますが、市長のお考えを伺います。

答：平和首長会議は、このアイキヤン最初の賛同団体です。行動計画において、条約の批准を取り組むべき今後の課題として掲げておりますので、市町村と連携を図りながら、対応してまいりたいと考えております。

答：佐倉市の例は私の手元にはコピーで来ておりまして、確かにこの新しい公共FMの連携、官民連携ということで、これは学校の教師が三、四人で、児童100人連れていくと。そのプールまでバスで送迎していくというようなことでして、民間プールを活用すると、ハード面等々で全て大変なメリットがあるということは当方も研究はしております。

今現在、何校かのプールが要らなくなってプールの費用も減ると。学校の先生の負担も減るという大変すばらしい効果はあるということですが、しっかりと調査をしてみないとはっきり出てきませんので、いま一度精査させていただきたいと思っております。



広島原爆ドーム



問：本年8月、連合という労働組合関連の主催する平和行動の一環活動で、数年ぶりに長崎の平和集会へ参加、現地での市長の「平和宣言」に感動しました。そこで、広島を修学旅行先としていくことの検討について伺います。

答：修学旅行先は、各学校で検討して決定しています。今年度、薄根中学校が広島方面を修学旅行の行程に入れていますが、その成果や課題を開き取り修学旅行先の検討する情報の1つとして、各学校に伝達していく考えです。

今後の6年間で目指すべき

街なか整備のコンセプトは

- ①公共交通の拠点整備
- ②街なか居住の推進
- ③医療機能の整備

との答弁でしたが…。



問：バスの待合所、これはまさに居場所なので、何とかコミュニティの核にならないかという

点でお伺いしたいと思いますけれども、バスの到着予定時刻が表示されるバスロケーションシステムというのがありますから、これを配置して、待っている場所にコミュニティを再生していくという考え方も良いとは思っています。

街なかで買い物して、保冷つきのロッカーなんかも置いて、待っている間何かできるというような問題ですとか、献血ルームだとかというのをつくって健康チェックのスマートウェルネスなんかの拠点なんかにもいいでしょうし、歩いているときの休憩場所にもなります。

答：今テラス沼田の中のサイン看板、これらを市役所だけでなく市民施設、業務施設等を統一したサイン看板にというお願いをしております。

その延長線上で、バスの待合所も統一したものができないかということを今鋭意検討している最中ですので、その延長線上で考えていきたいと思います。



渋谷区の高速バス待合所には、買い物置き場の他、携帯充電や更衣室もあったりする

人と人のつながりには お金で買えない価値があった



仲町に建設中の（仮称）「菜の花館本町通」



「菜の花館本町通」は、2階に地域密着型特別養護老人ホーム（20床）3階には、小規模多機能型居宅介護施設と24時間対応訪問看護ステーションが供用開始の予定です。

1階にはヘルパーステーションと「地域交流スペース」が出来ると聞いています。この空間の具体的な利用方法等は聞いていませんが、名称から推察すれば、「地域」との係わりを何らかの形で持っていくと思われます。

福祉関連の法人や行政の施設、そして「空きスペース」といったハード施設を活用して、地域の方々の得意分野の資源を、そこでエネルギーに転換できる「仕組みづくり」が今こそ求められていると確信し、以下の質問をしました。

問：例えば横塚の「蔵人」（クラウド）だとか、それから子ども食堂を提供している「恵の家」や「ごったく広場」では、テーマ型の問題解決、中間支援と言われているところですが、こういったところは実際に居場所づくりという点で実践を始めているし、ずっとやっているということなんです。

地縁型というよりも、テーマ型というところにも視点を移して居場所づくり、コミュニティの再生というのを町なかにつくっていく考え方で、具体化をしたらと思います。

答：テーマ型という形で大変おもしろい参考事例だというふうに思っております。

H30年6月定例会
動きも変化も顕在化してきたが…
中心市街地街なか再生の今後の方向性は？
H36年度までにどうしていくのか？

問：本年度、中心市街地土地区画整理事業費には、約3億6800万円が計上され、中心市街地街なか再生関連事業には、約6500万円が計上されています。

残された期間、限られた財源で本事業をどのような完成させていくお考えか、現在の進捗状況とタイムスケジュール含めてお聞かせ下さい。

また、「やさしさ・にぎわいの核整備事業」も約5500万円が計上されていますが、「にぎわいの核」のみへの計上と認識しています。

計画当初の「やさしさの核」は全てテラス沼田に集約されたのでしょうか？また、計画では中町周辺に展開するはずだった657㎡の用地の利活用や、新たな計画等は部内等で話合われているのでしょうかお聞かせ下さい。

平成29年度中心市街地土地区画整理事業費		
全体事業費		313,669,509円
補助対象事業費	道路事業	164,001,121円
	国費（55.0％）	90,200,587円
	負担金（19.3％）	31,679,000円
	起債（23.7％）	38,900,000円
	市費（2.0％）	3,221,534円
	都市再生区画整理事業	66,732,000円
	国費（50.4％）	33,366,000円
	負担金（4.2％）	2,821,00円
	起債（41.1％）	27,400,000円
	市費（4.7％）	3,145,000円
沼田市単独事業費		82,936,388円

答：平成29年度末の事業費ベースの進捗率は50.3％であります。

今後は、仮換地指定をしている2街区東側の整備を進めてまいりたいと考えております。

事業認可を受けている平成36年度までの期間について、引き続き、事業推進に努めていきたいと考えています。

「やさしさの核」に予定をしていた施設をテラス沼田に整備することから、基本計画にある「公共交通の拠点整備」・「街なか居住の推進」・「医療機能の整備」の3つの整備方針について、関係各課や活性化の会等と協議、検討を進めているところです。

15年で50%の進捗率
残り6年で事業完了は可能か？



中心市街地関連予算は、事業開始以来、年間約3億～5億円程度であったと記憶しています。

計画当初総額概算総額は150億円とされていました。事業費ベース50％進捗ということは、残りの費用は75億円を要するという意味に解することもできます。

75億円÷6年＝1年平均約12億円？とすれば、単純計算で3倍の予算が必要ということに…。

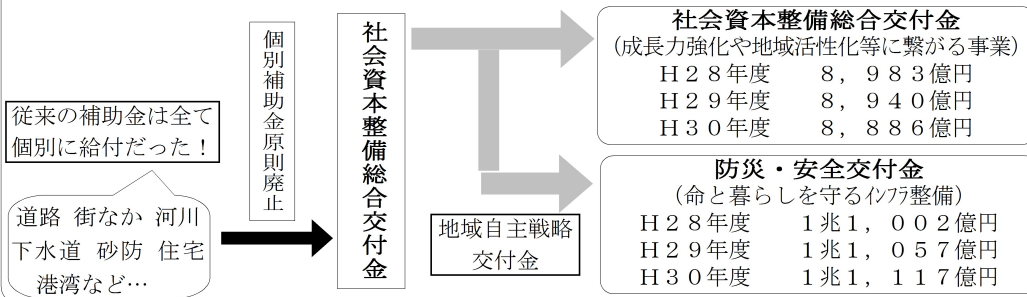
下図は、街なか関連事業への補助金の支出構造が変化したことを示しています。

ここ数年「安定した財源確保」状況が続いていますが、応募する自治体が増えたり、激増する自然災害にも左右される構造となっています。

また、左表は昨年度の街なか関連事業費の内訳です。国からの補助率は50％以上の「依存度」となっていることが、読み取れると思います。

社会資本整備総合交付金概要図

国土交通省HPより



オスプレイが利根沼田
上空を飛ぶ！

問：8月下旬「米軍輸送機オスプレイ」が東京の横田基地に5機配備されるという報道を耳にしました。さらに、埼玉県内に緊急着陸との報道が後を追って入ってきました。国防、外交、金融は国の専権事項と一般的に言われますが、日本政府は「国家」を、そして地方自治体である沼田市は、市民の福祉の向上を自主的総合的に提供すること、つまり「暮らしと安全」をしっかり守ることが地方自治法に謳われていて、それぞれ役割が異なるのです。

米軍輸送機オスプレイの本地域での通過及び訓練実施への対応策への市長の見解を伺います。

答：オスプレイは輸送用の垂直離着陸機ですが、その事故率の高さなどが不安視されているところであり、日米合同軍事演習などによりオスプレイの飛来が確認をされているところです。

オスプレイを含む米軍機飛行に関しては、本年6月、国の責任において、関係自治体及び住民に対し説明を行うことや安全性の確保と県民生活への影響を最小限とするための適切な対応などの措置を講じることを群馬県知事が要請をしており、引き続き県を初めとする関係機関と連携を図り、情報収集に努めながら、市民の安全確保を図っていきたいと考えております。

例えば、それは事故が多発する交差点に信号機を付け、夜間の危険に警察官の増員を要望することと同じと考えます。

市長！ひるまず頑張ってください！



上の図で矢印が岐阜を起点に、新潟→みなかみ町→沼田市→新潟→山形県境へ抜けていく「上空飛行コース」です。

ホテルエリアってみなかみ町？

ほぼ群馬県全体を覆っているのが、ホテルエリアです。ただルート上を飛行するだけでも危険なのに、沼田市近郊やみなかみ町では、夜間での給油や救出訓練を行うとされています。つまり、低空で飛行したり山間をすり抜けていくようなことをするということです。

万が一の為の訓練が、人家もあり観光客の訪れる場所で日常的に、一方的に実施されることになりました。

危険除去へ向けた市長の考えを問いました。理論上は「理想の輸送機」だが、ヘリと飛行機の良いとこ取りは実際には、技術上の無理を生み出し、危険極まりないオスプレイ。

横田基地に配備され、六本木のヘリパッド間でも飛行することがTBS TV「うわさの東京マガジン」でも放映されました。

「病院や学校、人家の密集する地域は飛行をしないという約束も、まるで無視されているだけでなく、那覇や羽田空港には米軍機の離発着に制限され、遠回りせざるを得ないことも実態となっている。

住みやすさ＝居場所づくり 買い物や病院が近い、など利便性も重要 ですが、自分の行く場所や居場所も大切！

問：子ども広場がおかげさまでテラス沼田の6階に設置が決まっています。就学前のお子さんはこれで助かるんですけども、小学生の低年齢児ですとかという方々も児童館が欲しいという要望は引き続きあります。

ですから、やさしさの核の3分の2ぐらいはあそこで実現するんですけども、スペースがもうないとなると、あの中には小学生、中学生が行く場所がないんです。あの周辺にそういった方々の居場所をつくるというのもありかなというふうにイメージしていますが。

答：小中学生の居場所ということですけども、今現在、小中学生が塾等々で大変忙しいという状況の中で、そういう居場所が果たして、どれくらい必要かということを研究してから参考にさせていただきたいと思います。



前橋元気プラザ21内の「プレイルーム」

「やさしさの核提案書」には既に「コミュニティビジネス」が提案されていました！

提案書「やさしさの核」－（障害者・高齢者福祉）＝コミュニティビジネス（まちづくり）＋アーバンツーリズム（都市観光＝上之町？）地域には意外に「親子」にやさしいスペース＝居場所は少ない。

人が大勢集まっていることだけで、コミュニティや絆が形成され、満たされている状態ではなく、子育て・介護・病気・障害・学業・借金など個別の悩みや課題は「個人的」になります。

得意技の披露の場「ヤドカリ商法」 ワンデイ・シェフ あなたの隣にいる〇〇名人「主婦がシェフ」



ある自治体の親子カフェの様子

ワンデイシェフと言って、毎日違うコックさんが自分の料理を、ランチで提供する。今日はカレー、明日はお寿司、次はイタリアンという形で、20食位を出すんです。

空き家対策問題も、店舗を1つ持つということのリスクだと思うんです。飯山市では市と社協が負担を幾らかしていただいています。

儲け幅は少なくともコミュニティが再生できる場所になるという点では、私は非常に感銘を受けていますが（コミュニティ・ビジネスという視点で）市長お考えを伺います。

答：大変おもしろい事例であると思いますので、参考にさせていただきます。

片品村の道の駅では週替わりの ウィークリー・シェフが



7月に開園した新道の駅「尾瀬かたしな前」

核家族化や社会が複雑化する中で、同じような課題や悩みを共有する「居場所」や身近な相談所が必要で、行政が求める「地区別」にこだわり過ぎず、種があるところから育成発展させるべきと考え、質問しました。

6月9日一般質問 住民ニーズの変化と 公共施設の維持・管理・運営

問：私は常々、定員削減やコストカットのみによる行政規模・サービスの「縮小・廃止」による「我慢するだけ」の考え方では、やがて町の魅力は削がれ、結局人口減少に歯止めが掛かるどころか、これを加速することに繋がるという確信から行政サービスの「民営化」路線ではなく、安全性や公平性等をきちんと担保した上で、民間との真のパートナーシップを構築していくべきと考えている一人です。

そこで、現在職員の「業務量調査」が実施されていると認識していますが、その途中経過と当初の予想との差異などについてお聞きます。



道の駅白沢の農産物直売所

問：指定管理者制度施行後15年が経過し、時代はPFI等も含めて益々高度化した民間との連携を図らなくてはならなくなっています。改めて現状と課題をお聞きます。

また、業者選定にあたっての透明性や客観性公平性は非常に重要です。白沢道の駅「望郷の湯」の今回の指定管理は「公募によらず指定」と聞いていますが、この具体的内容を説明願いたいと思います。

答：制度の課題では、指定管理者の受け手が少ない地域事情や施設の老朽化、人件費等の上昇によるコストアップ、また、公共施設等総合管理計画との整合性をどう図っていくかなどが考えられます。

「公募によらず指定」した理由は、先程の計画の中で、同施設は「民営化を検討」方針を示し、平成33年度までに具体的な取り組みを行うこととしています。

答：この調査で抽出された課題について、段階的に適切な業務改革を行い、改善や削減により生み出されたリソース（資源・資産）は、市が本当に投資すべき業務領域に充当することにより、行政サービスの向上を図っていく考えです。

問：公共施設マネジメントでは、着手の優先順位のセオリーからすれば、小さな施設や費用負担の少額な集落の集会所や公民館より、損益の幅が大きな施設の老朽化対策や管理運営費を見直すことが重要なのは明白です。

こうした視点で見たとき、テラス沼田と（仮称）利南運動公園が思い浮かびますが、同施設の推計管理費と運営方法について、その効果をどう発揮しようとしているのか伺います。

答：テラス沼田では、一括管理で自前でやるのがいいのか、一括管理で委託するのがいいのか、それとも施設施設ごとに分けて、その施設を管理する者が管理するのか、委託させるのかというようなことを今議論している最中です。

運動公園では、人員配置した方が効率が良いのか、各クラブとか各部に任せるのか、それらも含めて今検討中です。

白沢振興公社損益計算書抜粋

支出の部			
科目	H29年度	H28年度	前年比
売店仕入高	25,233,396	28,274,582	△3,041,186
レストラン仕入高	28,060,953	28,709,401	△648,448
販売員給与	73,866,820	73,896,395	△29,575
従業員賞与	9,885,950	15,500,000	△5,614,050
地代家賃	16,729,295	18,140,874	△1,411,579
修繕費	3,885,534	8,442,328	△4,556,794
消耗品等	5,806,347	7,037,470	△1,231,123
支出合計	244,342,936	258,497,544	△14,154,608
当期利益金	2,634,199	2,878,616	△244,416

約263万円の当期収益はあげているものの、減収となり利用者数では、昨年の212,000人から約12,000人減らし、販売員給与、従業員賞与ともに削減されていることも気になります。